

共同獣医学科
獣医寄生虫学研究室

当研究室では、ヒトや動物に感染する寄生虫とそれによる病気（寄生虫病）についての教育と研究を行っています。

◆担当科目	◆獣医寄生虫学・寄生虫病学で勉強すること
・ 原虫・原虫病学、蠕虫・蠕虫病・衛生動物学（3年次） ・ 獣医寄生虫学実習（3年次）	1) 寄生虫にはどのような種類があり、どのような形態をし、どのような動物に感染するのか？ 2) 感染した動物はどのような病害を受けるか？それによってどんな症状を示すのか？ 3) 感染動物を治療するには？ 4) 感染を未然に防ぐにはどうすべきか？

【主な研究テーマ】

1. 家畜、コンパニオンアニマル、野生動物の寄生虫感染状況の調査

最近、動物から人へ伝播する感染症（人獣共通感染症）が注目されていますが、寄生虫が原因となる人獣共通感染症も多数知られています。ヒトへの感染を未然に防ぐ為には、それぞれの動物はどのような寄生虫種を保有しているかを把握しておくことが重要で、その解明が調査の目的です。



クマなどの野生動物に寄生する旋毛虫（トリヒナ）



2. 寄生虫の遺伝子 DNA を利用した寄生虫検査・診断への応用

生物のすべての遺伝情報は DNA に刻み込まれており、生物が進化してきた過程で互いに特徴が類似した生物種は当然、類似した遺伝情報を持っています。したがって寄生虫の DNA を調べることにより、例えば外見上の特徴では区別できないグループ間を識別することが可能となり、感染動物に及ぼす病害が異なるグループ間を識別することも可能となります。これを寄生虫の検査や寄生虫病の診断へ応用する技術の開発するための研究を行っています。